



商工会報

2017
3
Vol.42

みのわ

会員親睦ボウリング大会

箕輪町商工会



新春講演会

1月25日、伊那プリンスホテルにて
本会恒例の新春講演会と新年を語る会
を開催しました。

講師に、コミュニケーションアドバイザーの鈴木優子さんをお迎えし「楽しいコミュニケーション術」と題して、参加者が体感できるスタイルでの講演会を実施しました。

講師の鈴木さんはアロマセラピー
メーカーの販売促進業務を経て、コー
ルセンター業務に従事、その間クレ
ーム対応をはじめ様々なコミュニケーション
術を実践され、さらに電話対応
教育等に携わった後、講師として独立
されました。実践で身につけた技術と、
コーチング理論を合わせた、今まさに
各界で求められているスキルを広めて
います。

コミュニケーション
シオンで一番大切
なことは「否定し
ない」「すぐアド
バイスをしない」
ことで「まずは聞
く」と言うこと。
私達は日常、相手
の話を否定する、
相手の話を奪う、
といった会話を無意識のうちにしてい
ます。これでは相手との信頼関係を構



築出来ず、上手くコミュニケーション
がとれません。そこで、相手の言った
ことをくり返す「オウム返し」により
この人は私の話を聞いてくれるという
気持ちと、もっと話そうという気持ち
にさせるそうです。

早速会場内でグルー
プになり、このコミュ
ニケーションを体験し
ました。

体験してみると、ほ

んの少しの心がけで、話しやすくなっ
たり、心地よく感じたり、会話の時間
が早く過ぎるような気がしました。

また、相手に「なぜ?」「どうして?」
と問い続けてしまうと、相手からは言
訳ばかり出てしまい、問題解決には繋
がらないそうです。

「なぜ?」の代わりに「原因を詳し
く教えてくれますか?」「私に出来る
ことはありますか?」といった会話を
することで、問題解決に繋がりがやす
くなるようです。

このとき、会場の男性陣がこぞって
「奥さんに聞かせたい」と唸っていま
した。(笑)

営業・商談・接客・クレーム対応・
果てには婚活まで使える今回学んだコ
ミュニケーション術。我々商工会会員
も身につけたい技の一つです。

講演会の後の新年を語る会でも、こ
の講演の話題がこちらコチャで聞こえ
ていたのがとても印象的でした。



商工会員 親睦ボウリング大会

2月24日、今年度の最後を飾る全体行
事「商工会員親睦ボウリング大会」を
みのわボウルにて開催しました。

参加者54名で20レーンを使つてのゲー
ムがスタートすると、ランダムに編成さ
れたチームでは、普段あまり話したこと
のない方や、初対面の方と一気に仲良
くなることができ、和やかな雰囲気の中、
箕輪町で働く仲間の距離
がグッと縮まりました。

従業員と一緒に参加さ
れる会員さんもあり、会
社の福利厚生として活用
頂ける良い機会です。
大会終了後、会場を箕



大会結果

男性の部

- 1位 唐沢 憲司さん
- 2位 木村 昌吾さん
- 3位 鳥羽 秀昭さん

女性の部

- 1位 中村 由美子さん
- 2位 前田 裕美さん
- 3位 浦野 美保子さん

輪閣に移し、懇親会を行いました。程よ
い運動の後は美味しいビールと食事に舌
鼓を打ち、参加者がほろ酔い加減の頃、
ボウリング大会での表彰式が執り行われ、
参加者全員が豪華で嬉しい賞品を手にし
ることができました。
賞品をご提供いただきました16社の皆
様に感謝申し上げます。

同じ箕輪町で働く経営者や従業員の親
睦を深める場づくりが今年も出来ました。

みのわ祭り

1月30日に伊那プリンスホテルにて第
一回みのわ祭実行委員会が開かれました。

本年度は、久しぶりにメイン会場を松島
仲町商店街へ移転することが決定され、気
持ちは新たに準備が始まりました。開催場
所の移転でクリアーしなくてはいけない
課題も多く、実行委員は例年より早めの取
組みに留意して進めています。

この度新たに実行委員長になった井口
正宏委員長は「かつて無いほど多くの人が
集まる祭り」「セキュリティの強化」「風

通しのいい運営体制」の三つの指針を示し、
このみのわ祭りを成功裏に終わらせたい
と決意を述べました。

実行委員会会長・白鳥町長からは「商工
会と一緒に町も今まで以上に祭りを下支
えし、みんなが楽しく参加出来るお祭りに
したい」と、商工会に熱い期待を寄せてい
ます。

昨年の熊本大分復興支援マーケットと
やぐら御輿の成功を元に、商工会も当日に
向けて準備が始まります。

みのわ祭りの実施日は7月29日(土)会員
みんなまで参加し盛り上げていきましょう。

視察研修旅行

商業部会長 唐澤 修一

本年度の目的地は、NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」で沸く「浜松」。主人公となる井伊直虎を祀る「龍潭寺（りょうたんじ）」を見学。ここは遠州の古刹、井伊直虎・井伊家菩提寺であり、左甚五郎作の驚張りの床や、東海一の庭園でしばし「無」になる「禅の時間」を体験。



そしてもう一つのお目当て「航空自衛隊浜松基地」目的はブルーインパルスによる華麗なる航空ショー。操縦士の高度な操作とチームワーク、そして過酷な訓練の賜である操縦技術の極みを目の当たりにしました。こんな機会でもないと、めったに見られない貴重な体験でした。

宿泊は浜名湖に浮かぶ館山寺のサゴロイヤルホテル。駿河湾でとれる海産物を肴に、美味しく楽しい宴会を堪能し会員の親睦を深めました。飲食店若手経営者からは「一人でお店をやっているから、こんな社員旅行みたいなこと一生ないと思っていました」という声がありました。

翌日は春華堂「うなぎパイファクトリー」の視察、「見せる工場」のモデルケースとして、全国から熱い支持を受けている工場です。

商品のファン作りとブランディングの仕

方を学んで来ました。

その後浜松市内に移り地場の特産物を集めた「やらまいか」を見学。道の駅ならぬ歩行者を対象にした町の駅のアンテナショップ。

町の特産品のブランディングは箕輪町や商工会の課題であり、お金のかけ方と、採算のとれ具合について直にお話しを聞くことができました。地域の特産品を集めて並べるだけでは、思うほど賑やかさと売上に繋がらない厳しい現実も垣間見ました。予算や場所に勝る、売り手の知恵と営業

力そして何よりも明確なビジョンが必要と感じました。

浜松と言えば「うなぎ」の老舗「うなぎ藤田」にて本場浜松のうなぎを堪能。

50年間継ぎ足したタレとホクホクのうなぎを頂き、至福の時を過ごします。



最後は焼津さかなセンターを視察。お土産の海産物を買って帰る路につきました。

道中いつも思っている「町を彩るのは商店、しかし昨今全国展開のチェーン店での町も同じ景色になってしまい、町の特徴、「らしさ」が失われている」という事です。「箕輪町らしさってなんだろう?」改めてそう考えました。

そうそう、書き忘れましたが、移動の間は商業部名物大ビンゴ大会がひたすら開催され、豪華賞品が配られました(笑)

箕輪町

特産品づくり



商業部会理事 栗原 勇雄

J Aがみいな箕輪支所、商工会、農業委員会の三者懇談会で「箕輪町の産物でお土産になるものはないか?」という話が出ました。常々箕輪町に来た観光客からは「箕輪町はかりんの産地だと聞くがどこに売っているのか?」という問合せがあります。そこで箕輪町の特産品である「かりん」を商品化したらどうだろうという話となりました。

実は全国的にもかりんの生産者は減っており、その内の代表的な生産地である箕輪町でも生産者は5名しかおらず、存続も危ぶまれる状態になっています。

ですから今回の商品化の話は「箕輪産のかりん」の存続に大きな影響を与える事となります。

昨年末から重ねられている検討会議では、生産の現状把握から、かりんの知識(本かりんとマルメロの違いなど)、商品開発などを経て、発売に向けて現在、検討・準備を進めています。

箕輪産のかりんを商品化し、箕輪町の特産品とすることで、箕輪に伝わるかりんの食文化や、風邪・ぜんそくの民間療法を知恵を繋いでいければと思います。また商工会が農家の生産・商品化・商品販売を繋ぐ架け橋として期待されています。



飲食店ガイドマップの作成

商業部会では箕輪町の飲食店のガイドマップ(仮称)の作成に取り組んでいます。元々近隣の町村に比べて「飲食店が多い」というのが箕輪町の特徴です。

そこで、もっと箕輪の人に食べてもらい、町外の人にも食べに来てもらって、町全体を元気にしていこう!というこころで飲食店に特化したマップ作りに取り組んでいます。

一店一品(逸品)をテーマに、「これがあるからこの店に行く」「この人がいるからこの店に行く」など個々の飲食店の「らしさ」が伝わるガイドマップづくり

を目指します。

作成にあたって1月に飲食店の経営者の方も交えての座談会も開き、多くの意見を頂きました。「方向性やあり方」「何のために作るのか」などの貴重な意見を製作に活かしていきます。

さまざまな飲食店が集まり「コンセプト」を語るのには珍しく、飲食店による町作りの可能性も垣間見ることが出来ました。

飲食店ガイドマップは来年の春ごろ完成します。



「メッセナゴヤ」 2016」への出展

(株) T.F.C 小池 俊仁

箕輪町商工会工業部会では、毎年メッセナゴヤに出展しております。弊社は今回初出展となりました。

共に参加した出展者は、

(有)カネカプレーティング(株)・(株)サンユウ
ヒットコンポジット(株)・(有)NOTES
(有)笑栄システム(株)・(株)ベネフィット
ミカドテクノス(株)、箕輪町の計9団体となりました。

展示会は10月26～29日まで行われ、4日間で6万人以上が来場されました。一般から企業の方まで、多方面から本当に多くの方々が来られていました。メッセナゴヤは、会場が非常に大きく、また分野別・テーマ別に会場が異なっているため、工業部会でもそれぞれ適したテーマに分かれての展示となりました。

弊社は、このような大きな展示会に出展することは初めてとなりましたが、あらゆる業界・業種の方々の意見を聞くことができ、非常に刺激を受けました。こういった方々の異なった視点からの意見を聞くことに



より、普段では気づけない課題や可能性を見出せたと思います。

今回の展示会は得るものが多く、非常に充実したものとなり、また今後の展開をしていくにあたって非常に役立つものとなりました。

南信工科短大

「人材ふれあいフェア」

工業部会長 木村 昌吾

11月12日、昨年4月に開校したばかりの南信工科短大に於いて第1回人材ふれあいフェアが開催されました。

工業部会では、ものづくり体験教室コーナーで、笑栄システムの向山社長に講師をお願いし、「パソコンを分解・組み立てしてみよう」というテーマで中学生を対象に講座を開催させていただきました。

どこから手を付けどうやったら部品が外せるのか一生懸命考えながら分解し、それを元通りに組み立てられるのかなど、子供たちは多くの事を学んだと思います。



「3町村合同

工業部会員交流会」

12月6日に伊那プリンスホテルに於いて、辰野町・南箕輪村・箕輪町合同の工業部会員交流会を開催しました。「お互いがマッチングしながら課題を乗り越えて行く為に、ものづくりの企業同士が知り合う機会を作りたい」という趣旨の元で、各社持ち寄った自社製品のPR、名刺・情報交換、懇親会と中身の濃い交流会が出来たと思います。

初めての企画で不安もありましたが、28社5団体総勢37名にご参加頂きました。

この3町村の交流会が、今後多くの企業に参加いただき成果を上げ継続する事を期待したいと思います。



研修旅行記

工業部会理事 唐澤 和夫

工業部会では、2月19日・20日の両日、群馬県方面へ視察研修旅行を行いました。

今回は、黒田会長にもご参加いただき、20名での研修となりました。最初の目的地、外産産富岡製糸場

は明治5年に建設され、当時としては最先端の技術を結集した大規模な工場であったこと、全国から集まった女工さんたちにより高品質の生糸が生産され、海外で高く評価されたことなどをガイドの方から説明を受けました。

その後、群馬名物こんにゃくパークを見学し、榛名湖を經由し今回の宿泊地伊香保温泉に向かいました。伊香保温泉では硫酸塩泉の大浴場に浸かり旅の疲れを癒し、夜は石段の両側に連なるみやげ物屋・遊技場・飲食店で温泉街の風情を楽しみつつ、夜の温泉街における商業活動の視察を行い、伝統の温泉文化に触れ合うことができました。



二日目は、大同特殊鋼(株) 渋川工場を見学しました。これは黒田会長のご配慮により実現しました。熟練工が真っ赤に焼けた大きな鋼材の塊をこれもまた巨大な鍛造装置を操り、綺麗に円盤状に仕上げていく様には思わず歓声が上がりました。

午後は富士重工矢島工場にて、板金プレス・溶接・塗装・組立・検査を経て、スバルの自動車が次々と生み出されていく様子を見学しました。

二日間の研修で、かつて日本を支えた産業と、現在そしてこれからの日本を支える産業を視察することができ、多少のハプニングはあったものの大変充実した視察研修旅行となりました。

技術展視察

副部会長 北澤 宗則

平成28年10月15日、名古屋市にある吹上ホールで行われた「建築総合展NAGOYA2016」の視察に行ってきました。

例年、現場視察研修を行っていましたが、建設業部会といっても専門別の職種に分かれた会員も多く所属しており、もっと部員一同参考になるものはないかと検討した結果、近年の目まぐるしく発展する技術を一堂に見れる展示会が開催されるということで日帰り視察を計画しました。

地元建築士会の作品展示から給排水配管の改修工法の展示、地域の木材を使った災害時の応急仮設住宅の展示など建設分野の様々な技術展示がされており、皆さん熱心に視察されていました。

昼食時は熱田神宮を参拝し、大変有意義な視察になりました。

今後部員の皆様のためになる活動を企画していきたいと思えます。



自由研削といし特別教育 資格取得講習

箕輪建設工業(株) 白鳥 和宣

10月29日に商工会2Fにて自由研削といしの特別教育を受講しました。

自由研削といし特別教育(労働安全衛生規則36条1項)とは、人造材等の砥石を高速回転で使用する機械の砥石の交換、試験運転が行える特別教育です。

資格を取得したことにより現場や加工場で金属の切断、研削に使用するハンドグラインダー、切断機やドリルビット、刃物の研ぎに使用する卓上グラインダーへの砥石交換、試験運転を行えるようになり、効率よく作業ができるようになりました。

また、砥石の誤使用や能力以上の機械への設置など危険性の周知ができ、安全作業が行えるようになりました。

このような講習を商工会で開催していただき、感謝しております。



視察研修旅行

建設業部会長 小河 節郎

建設業部会は、会員の職種が多岐に渡り、研修先の選定に苦慮します。

会員の為になる研修と合わせて楽しい旅行にしようと、本年は3か所の研修を計画しました。

エアコンのトップメーカーであるダイキン工業の「ダイキンソリューションプラザ」では、家庭用のルームエアコンや業務用のマルチエアコンなど、日頃の生活や仕事に関連した知識を得ることが出来ました。

衛生器具メーカーの「TOTOTEKニカルセンター」では、生活するうえで欠かせないトイレの最新のシステムなどを研修し、見えない部分の技術と日進月歩のハイテク技術に感銘を受けました。

懇切丁寧に説明を頂きましたメーカースタッフに感謝いたしました。

3か所目の研修地は現在無人島になっっている「猿島」。横須賀港より船で島に渡り、終戦まで東京空襲から首都を守った砲台・弾薬庫などの歴史を知り、夜の中華街、また今話題の築地での食事や買い物など、2日間目いっぱい楽しく実に有意義な研修旅行でした。

子供の未来創造事業

VRメガネを作る

副部会長 向山 幹夫

子供の未来創造事業の一環として箕輪町公民館出前講座に登録したところ、松島分館様からぜひお願いしたいとお声がかかり、部会役員5名と事務局計6名で1月21日、「ダンボールで作るVRメガネ」の講座に松島コミュニティセンターへ行ってきました。

ハサミを使うこともあつて小学生と保護者も一緒に来ていただき、約20名の参加がありました。

作った後、スマートフォンの3D専門サイトでジェットコースターや動物など、とても興味深そうに見ていました。約2時間でしたが、とても有意義な時間だったと思います。

この小学生の中から、将来数名でも工業に興味を持ってくれたらと思います。教室を後にしました。



「フエンシング大会」 リーダーとして大切なもの

常任委員 荒川 桂史

青年部に入部して3年目。早くもイベントリーダーを任されることになりました。担当のイベントはフエンシング大会ともみじマーケットです。大きなイベントなので、何とか無事に成功させたいという一心で臨みました。さっそく、グループメンバーを集めて会議を開きました。しかし、メンバーのほとんどは私よりも先輩で、リーダーとはいえ遠慮している自分がいました。本来はリーダーとしてメンバー全員に等しく役割分担をするべきところ、それができずにいましたので、イベント本番までなるべくメンバー全員に役割分担をするように努めました。

イベント本番当日が来ました。その日は悪

天候でしたが、途中から回復してきましたので、用意した催し物は予定通り決行できました。しかし、準備に手間取ってしまい、イベント開始予定の時刻を過ぎてしまいました。しかし、メンバーははじめ青年部員の協力のもとイベントは無事に終えることができました。今回、イベントリーダーを経験し、様々な反省点がありました。同時に貴重な体験もできました。特に、イベントリーダーとして一番大切なものは、「このイベントを必ず成功させたい」という気持ちであると気づかされました。その気持ちが強ければ強いほど、イベントは成功するものだと思います。今後、あらゆる場面でリーダー職を担う際は、今回の経験を活かし、成長の糧にしたいと考えております。



【経営塾】

副部長 小森 貴幸

青年部では今年度の事業として「経営塾」を開き多くの事を学んできました。

第3回の経営塾では長野県信用保証協会の原章さんを講師にお招きし、「譲られる側の視点から見た事業承継」として事業承継について講演して頂きました。

「IT、モノ、カネ、知的資産をうまく引き継ぎましょう。」という事で、従業員は○年後どうしているのか？設備・不動産、金融・財産はどこまで把握しているか？社長から直接伝授されるものとして経営理念、信用、ノウハウ、顧客情報などを理解しているのか？

など、事業承継するにあたってのポイントを自分と照らし合わせながら教えてもらいました。ある程度は把握していましたが、まだ引き継がなければいけないポイントを明確に確認する事が出来ました。これまでに第一回、2回で学んだ経営計画書、戦略設計図の作り方を踏まえて、これからの自社の発展のため、良き経営者になるために活用していきたいと思えます。



【研修旅行】

副部長 山崎 雅士

研修旅行事業では、「日本の技術、新幹線に乗り、創造都市に認定された古都金沢を知ろう」を目的にし、金沢に行ってきました。

1日目に箔一本店を見学、金箔がどのように作られているかを知り、ひがし茶屋街では、昔ながらの建物に歴史を感じる事が出来ました。

2日目は、青年部の先輩である宮本酒蔵にお酒の作り方、どのように蔵を守ってきたかを教えて頂きました。近江市場では、活気ある商店、色々学べました。

昔ながらの文化、近代的な文化どちらも体感できた研修旅行が出来ました。



宮本酒蔵にて

【退任挨拶】



部長 重盛 秀敏

このたびは青年部部長として二年間の任期を終了することとなりました。また、県青連会長の職も併せて務めることが出来ました。

これから、少子高齢化に伴う人口減少社会になっていきます。また、地方創生が叫ばれている中で、地域振興事業だけではなく次世代の地域の経営者として、講習会など研修事業に取り組んでまいります。

ました。まだまだ課題はたくさんあり取り組めなかったのが反省点でもあり残念でした。

県青連会長として、いろいろな地域に行ける機会があり、多くの人と出会うことができ、多くのことを学び、気づくことができました。また、偶然にも全青連、県青連の組織化五十周年に立ち会えたことは一生の思い出だと思います。

この様な貴重な経験ができましたのも、この箕輪町の部員の皆様をはじめ、家族、従業員など多くの皆様の支えがあったからだと思います。

本当にありがとうございました。この経験を糧に自社の経営など、今後の人生に生かして尽力していきたいと思えます。



部員研修

花遊庭とキューピー工場見学と銀の森

副部長 福沢加代



10月5日朝、女性部員34名を乗せた大型バス紫ダリア号は、心配された台風18号の雲の隙間から見える秋空に向かい、豊田東一Cを降り30分程走った細い路地の住宅街にひっそり、まるで隠れ家のような(株)豊田ガーデン花遊庭へ。

チャペルがあり所々に蚊取り線香の煙立つコンパウトに手入れされた28のテーマガーデンを散策、ほどなく庭の椅子に腰をおろし眺める部員の姿もありました。散策後は白壁の広いウェディング会場の丸テーブル席でビューフェランチをいただきました。近くにはガーデンショップもあり、選びきれない程の様々な鉢植えを見る姿がありました。お腹も満たされ、いざ!! キューピー(株)挙母工場の見学。

到着後出迎えて下さった社員さんの案内で歴史やマヨネーズの秘密など鑑賞学習し2班に分かれ製造ラインへ。卵割機では目が回りそうな作業を安全で衛生的に作業してました。見学後は、試食とキューピー限定のお買い物を楽しみ、記念の集合写真におさまりました。



QP 知恵袋
その1、マヨネーズは開封後冷所1ヶ月で使いきりが◎
その2、お馴染みの赤のマスの目のパッケージが登録商標。



部員研修となり、皆さまのご協力に胸が熱くなりました。次回も、「ぜひ参加したい!」そんな企画を目指して行きます。



フラワーアレンジメント講習会

副部長 福沢加代

12月22日、講師に女性部員としてご活躍中の花のアトリエ里香・塩原佳代子さんをお招きし、フラワーアレンジメントは初チャレンスの部員さんから恒例の皆様まで昼夜43名のご参加を頂きました。



師走の雨も優しく新春を迎えるにあたり、とりどりの花器から漂う香りに包まれ、花のところに触れそれぞれ真剣に向き合う姿勢と和やかなひとときを過ごすことができました。



ウエスと新しいタオルのお届け

3月3日、年間を通して部員の皆さんに収集のご協力をいただきました「ウエス」と「新しいタオル」を社会福祉協議会とふれあいの里へお届けしました。



女性だけの、お笑いボウリング大会

副部長 石堂ますみ

11月10日、女性部交流会をミノワボウルと焼肉新味園にて、部員22名の参加で行いました。今年は今までと少し志向を変え、スポーツの秋に体を動かしながら交流してみました。



ボウリングは何年ぶり?...という人もあり、はじめは溝のお掃除をする人、ボールを後ろに落とす人が笑いを誘っていました。投げてはいるうちに昔取った杵柄じゃないですが、スベアやストライクが出て賞賛の大騒ぎに...



騒いで笑って女性部ならではの楽しいボウリング大会となりました。ゲームの後は、会場を焼肉新味園に移し懇親会を行いました。お肉をほ

おぼりながら、ボウリングや色々な話に花が咲きこちらでも大盛り上がり...表彰式は「ストレス発散したで賞」「魔球投げちゃったで賞」「私が部長の小松で賞」など17のユニークなネーミングの賞を設け、賞品は卵や高値の野菜、調味料などの生活必需品がたくさん!参加者全員大笑いで受け取っていました。時間を忘れ、よくしゃべって笑って!女性部ならではの交流会は無事に終わりました。



役員研修

部長 小松美佳子



2月10日11日に女性部の役員研修で、三重・岐阜方面に行ってきました。折しも日本列島に寒波襲来!大雪警報



夜は美味しいバイキング料理や露天風呂を楽しみ、部屋でゆっくりしながら「女性部はどうあるべきか!」などの意見交換も...

発令で町内も積雪で大騒ぎの中での出発でしたが、三重県に向かうほどに雪はなくなり、「ナガシマリゾート」に到着し、リゾート内で昼食をとり、買い物やホテルでゆっくりして過ごしました。夕方から「なばなの里」でベゴニアガーデンの見学と、イルミネーションの点灯にあわせ、寒い園内の壮大で鮮やかな色と光のイルミネーションを見学し、皆感動と寒さに震えました。

翌日は下呂温泉の「ホテルくさかべアルメリア」へ向かいました。途中の高速道路が雪や事故で渋滞し、立ち往生かと心配しましたが、急遽下道に降りて無事に到着しました。昼食後、めったに見られない「タイランドショー」に一同目を奪われっぱなし...夢のような楽しい時間に身も心も若返り、明日からの活動をまた頑張ろう!と思いつきながら帰途につきました。





箕輪町の未来を担う 若者正規雇用 補助金の

お知らせ

平成29年4月から
受付をはじめます

箕輪町では、新たに若者を
正規雇用する事業主の皆様への
補助制度を始めました。

【補助内容】

町内に在住する満25歳以下の若者を正規雇用した事業主の方へ、若者1人につき10万円を補助金として交付します。

■対象となる事業主 ※下記のすべての該当する事業主とします。

- ◆町内の事業所又は事務所（町外本社の場合、町内事業所等を勤務場所とする）において若者を新規雇用した事業主
- ◆雇用保険法第5条第1項に規定する適用事業の事業主
- ◆中小企業基本法第2条第1項各号に規定する中小企業者のうち、従業員が300人以下の事業主

■補助金対象者となる若者

- ◆正規雇用から12ヶ月を経過し、かつ、引き続き雇用される見込みの若者
- ◆正規雇用された日の属する月において町内に住所があり、引き続き町内に在住することが見込まれる若者
- ◆事業主の2親等以内の親族でない若者

■申請時期

平成28年4月以降の正規雇用から12ヶ月経過後、3ヶ月以内に申請してください。

town.minowa.nagano.jp/

町のホームページでもご案内しています。

▶▶▶詳しくは、お問い合わせ下さい。箕輪町役場 産業振興課 商工観光推進室 TEL：79-3111 (171)

《新入会員紹介》 平成 28.10～平成 29.1

商 びーみんぐ すまいるす
BEAMING SMILES
広報活動支援・英語教育
地区 / 八乙女

工 かぶしきがいしゃ いくしす
(株)イクシス
工業用模型製造業・プラスチック試作品製造
地区 / 大出

工 こいでせいき
小出精機
金属加工
地区 / 木下

商 かなめや
要屋
喫茶店
地区 / 松島

商 かぶしきがいしゃ ていーえむしー
(株)DMCアップガレージ長野伊那店
中古自動車部品販売
地区 / 松島

商 びょうしつ あうるーら
美容室アウローラ
美容業
地区 / 三日町

工 えくしんてっく かぶしきがいしゃ
エクシンテック(株)
弱电系制御
地区 / 松島

商 ふぁーすと びーしー
ファーストPC
IT機器販売修理
地区 / 松島

職員退職 3月31日付けて退職



【定年退職】事務局長：森下 繁一（もりした しがかず）

任期中、お世話になり誠に有難うございました。振り返って、期待以上に応えたと自負する事柄もなく、また、幸いにも大過なく終えられた5年10ヶ月でした。本会役職員、会員皆様には、今後益々のご健勝を心よりご祈念申し上げます。多謝。



【退職】

経営支援員：柄澤 幸代
（からさわ さちよ）

平成9年4月1日から
20年間勤務されました。



平成29年度上期 今後の事業予定

- ・次号発行までの現時点での予定です。
- ・詳細は追ってご案内します。

注) 数字は開催日、【商】【工】【建】【青】【女】は各部会・部の事業を表す。

予定時期	事業内容
H29.4月	7日.【青】通常総会
	21日.【女】通常総会
5月	16日.平成29年度(第57回)本会通常総会
7月	29日.みのわ祭り参加
9月	会報43号発行(予定)